

資産運用レポート：ヴァヘンハイム流 バリューストック投資

1 はじめに

強気相場が続けば、出版される株本も増えます。しかしながら、安易なタイトルが散見されるのも事実です。

そんな状況にうんざりしていたとき、待ち合わせの時間つぶしに立ち寄った書店にて、久々にガツンとくる良書を見つけました。

『ハーバード流ケースメソッドで学ぶバリューストック投資』

著者のエド・ヴァヘンハイムは、投資顧問会社の会長兼チーフファンドマネジャーとして、過去 25 年間に渡り、平均すると年利 19% 近いリターンをあげてきたバリューストック投資家です。

通常、この手の人物は表舞台に出ることを好まず、投資手法について本人自らが筆をしたためて語ることは滅多にないだけに、そういう意味でも本書は貴重といえるでしょう。

ヴァヘンハイムの投資戦略を一言で表すと次のとおりで、まさにバリューストック投資の王道そのものです。

堅実かつ成長している企業の、大幅に割安となっている株式、願わくは、いまだ株価に反映されていない前向きな変化が見られた結果として急上昇するであろう株式を買おうとする

今回の資産運用レポートでは、私自身も感銘を受けた「ヴァヘンハイム流バリューストック投資」を取り上げます。

